

7

自然災害にそなえるまちづくり

(1) おそろしい災害

静岡県では、どのような自然災害があるのだろう。



茶のみやきんじろう
©掛川市



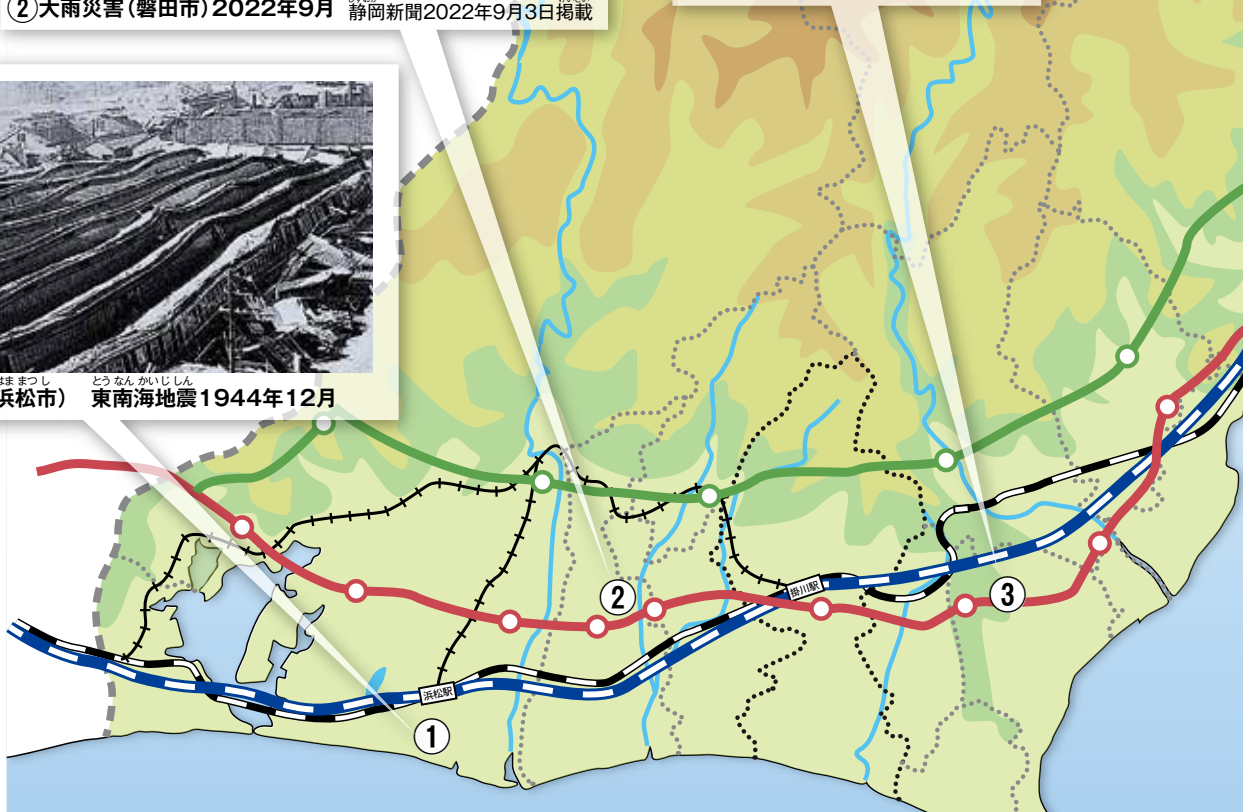
②大雨災害(磐田市)2022年9月 静岡新聞2022年9月3日掲載



③地震災害(牧之原市)
駿河湾を震源とする地震2009年8月
静岡新聞2009年8月12日掲載



①地震災害(浜松市) 東南海地震1944年12月



学習問題

わたしたちの地域では、災害に備えて、どのような取り組みをしているのだろう。



④ 風水災害(静岡市) 七夕豪雨1974年(出典:記念誌「大谷川放水路」)



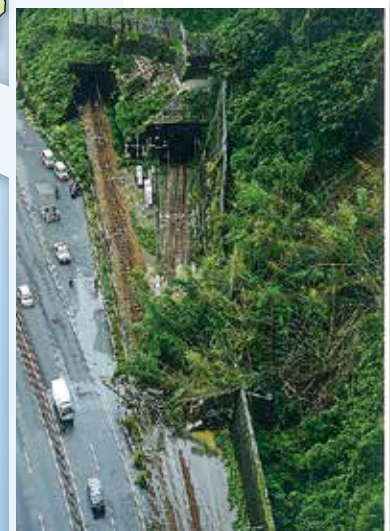
⑤ 火山災害(富士山) 宝永大ふん火1707年
(静岡県立中央図書館歴史文化情報センター提供)



掛川市にも大きな災害があったのかな。



⑥ 雪害(裾野市) 2014年2月
静岡新聞2014年2月16日掲載



⑦ 風水災害(静岡市) 2014年10月
静岡新聞2014年10月6日掲載

(2) 掛川市で起きた災害（地震・風水災害）

静岡県では、1944（昭和19）年にマグニチュード7.9の東南海地震が起きました。

掛川市でも道路やお店、多くの家がひがいを受けてました。掛川駅付近や大池、南郷では多くの住宅が全壊、半壊をして、大きなひがいを受けてました。



地震によって転ぶくした東海道本線の列車（袋井）



掛川市西町の1階が押しつぶされた家

関七郎さんの話

地震の時、父は奥の座敷で客の対応をしていた。揺れが激しく壁側のタンスが倒れそうになったので、父はこれを壁に押しつけ、地震中その姿勢をどうすることもできなかった。母は庭に逃げ、外から揺れる家を見て、いつつぶれるかと心配していた。（一部抜粋）

写真・資料提供

「写真でみる東南海地震」（静岡県中遠県行政センター）より

その後も、大きな地震が起っています。

2009（平成21）年の地震では、掛川市でも屋根がわらが落ちたり、ブロックベ이가倒れたりするなど多くのひがいが出ました。



屋根がわらが壊れた家
（掛川市役所危機管理課提供）

年	災害名
1854	安政東海地震
1930	北伊豆地震
1944	東南海地震
1974	伊豆半島沖地震
1978	伊豆大島近海地震
2009	駿河湾を震源とする地震

静岡県近辺で発生した地震

また、掛川市では台風や大雨による風水災害も起こっています。

掛川市に災害をもたらした主な台風，集中豪雨

年月	災害名	主なひがい
1965年 9月	台風24号	駿遠線鉄橋が落ちる 塩がいが起こる
1976年 7月	集中豪雨	浸水住宅700戸 西山沢川のはんらん
1982年 9月	台風18号	死者2名 けが人11名 ひがいが住宅2600戸以上 (写真1,2)
1990年 9月	台風20号	死者1名 がけくずれ多数
2011年 9月	台風12号	ひなんかんこく (倉真、日坂、東山地区)
2014年10月	台風18号	ひなんかんこく (曾我地区) 原野谷川はんらん (写真3,4)
2017年10月	台風21号	ひなんかんこく (市内全域の土砂災害警戒区域)
2019年10月	台風19号	ひなんかんこく (市内全域)
2022年 9月	台風15号	死者1名 ひなんしじ (大東地域全域) (曾我地区全域) (市内全域の土砂災害警戒区域)



郷土新聞提供

土砂に押しつぶされた住宅 (板沢)



郷土新聞提供

一昼夜水に浸かる住宅 (領家)



昭和57年9月台風18号仁藤付近①

林写真館提供

水に流されそうな住宅 (仁藤) 「写真1」



昭和57年9月台風18号仁藤付近①

林写真館提供

水があふれる道路 (仁藤) 「写真2」



大雨によって、ヒザまで浸かっている (二瀬川) 「写真3」



孤立住宅からの救出 (吉岡) 「写真4」

(3) 災害にそなえたまちづくり

掛川市では、災害にそなえて、どのようなまちづくりをしているのだろう。



「ひなん所」のかんばん



海抜 (地面の高さ) をしめすひょうしき



茶のみやきんじろう ©掛川市

掛川市役所危機管理部の人の話

実際に大きな地震が発生すると、市は災害対策本部を設置します。さらに、被害を受けた人の救助を行ったり、ひなん所を設営したりします。

津波へのそなえとして、海抜をしめすひょうしきを設置しています。津波が乗り越えない高さまで土を盛り、国や県と協力して災害に強い海岸林をつくることで、津波から市民の命を守ります。

また、各家庭に「防災ガイドブック」を配布して、各地域の防災情報を知らせ、「家庭の避難計画」を作成することをめざしています。

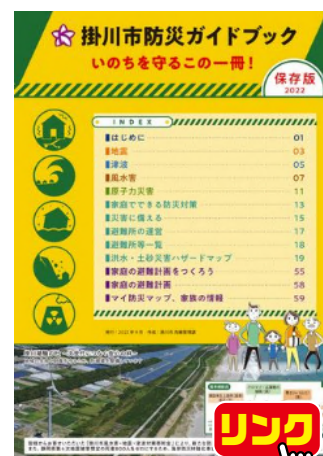
このように掛川市では、災害による死亡者ゼロを目指して、地震や津波対策に力を入れています。



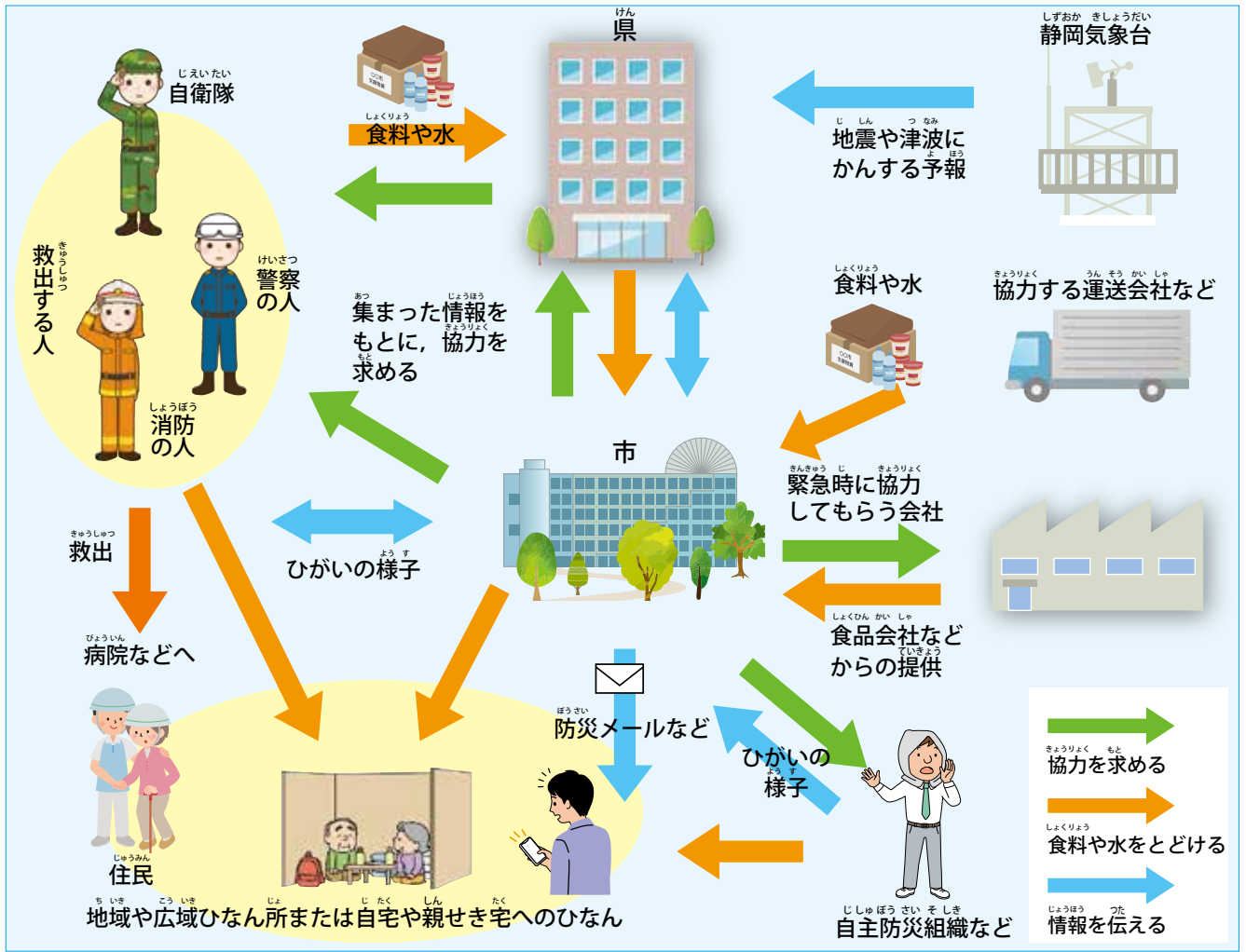
家庭の避難計画をつくろう



家庭の避難計画をつくろう
デジタル版



防災ガイドブック



掛川市の地震から住民を守るしくみ

静岡県

- 市や国と連絡を取り合い、情報を集める。
- 必要なしえんを行う。
- まわりの市や町に協力を求め、被災した市をしえんする。

消防

- 災害対策本部の指示で、消防署員、消防団員を集める。
- 被災者を救助する。
- 被災者の情報を集める。

自衛隊

- 被害が大きい時、県の要せいにより、出動する。
- けが人などをヘリコプターやトラックで運ぶ。
- 被災地へ水や食料を運ぶ。
- つぶれた建物や土砂くずれからの人の救出。

警察

- 県の要せいにより、活動を行う。
- 被災者のひなんゆうどう、救助をする。
- 被災地の交通させいやけいかいをする。

市内の工場や会社と災害協定を結び、緊急時に協力してもらうことになっています。また、大東・大須賀地区の会社は、建物を津波ひなんビルとして使用できる約そくをしています。

学校などのしせつは、災害が起きた時に、市民を受け入れるひな
 人所となります。そのため、防災倉庫が設置され、中には、災害にそ
 なえていろいろなものが保管されています。



防災倉庫の中



防災倉庫

また、公共しせつには、災害時に活用できるように工夫されたせ
 つびがあります。

〈非常用コンロになる「かまどベンチ」：南体育館〉



〈非常時トイレになる「マンホールトイレ」：横須賀高校〉





学校や地域では、災害にそなえて、どのような取り組みをしているのだろう。

災害のおそろしさを知ったやよいさんたちは、地域や学校での防災活動について調べました。



ジャッキアップによる救出訓練



津波ひなんタワーへのひなん訓練



DIG 訓練
(地図を使って防災対策を考える訓練)



地域での防災訓練



ロープワーク研修
(防災リーダー養成講座初級)



応急手当体験
(防災リーダー養成講座上級)

津波ひなんしせつ



菊浜の津波ひなんタワー



いのち山 (かぐら山)



津波避難ビル
Tsunami Evacuation Building
Edificio de Refugio de Tsunami



しせつをしめすマーク